

Java on Azure Day 2023 ～ OpenAI など最新技術でここまでできる！ Java 開発/運用の今と未来 ～

Track A タイムテーブル

2023 年 4 月 26 日（水） 10:00 ～ 18:00 (受付開始 9:30～)



開始	終了	時間	タイトル	登壇者
9:30	10:00	30 分	受付開始	
10:00	10:45	45 分	Keynote	Coming Soon
10:45	11:00	15 分	休憩	
11:00	11:45	45 分	Java は今どこに向かっているのか	櫻庭 祐一 Java Champion
<p>2023 年 3 月に Java 20 がリリースされ、9 月には LTS となる Java 21 がリリースされます。現在の LTS である Java 17 からは、仮想スレッドや、JNI に代わるネイティブコードとの連携を行う Foreign Function & Memory API など様々な機能が導入されます。API だけでなく、Java 言語仕様も大きく変わってきています。特に Project Amber によるレコード型やパターンマッチングなどにより、Java のプログラミングがイミュータブルなデータを中心としたスタイルに変わりつつあります。</p> <p>そこで、本セッションでは Java 17 以降に導入された機能を概説し、後半では Project Amber によるプログラミングスタイルの変化に焦点を当てて紹介します。</p>				
11:45	12:00	15 分	休憩	
12:00	12:45	45 分	Spring Boot の最新情報ご紹介 (3.0 / 3.1 の新機能など)	槇 俊明 VIEWMウェア株式会社 Senior Staff Cloud Native Architect
<p>本セッションでは昨年 5 年ぶりにメジャーバージョンアップされた Spring Boot 3 の注目すべき機能を紹介します。</p> <p>またその時点で最新の Spring Boot 3.1 に関する情報や Azure に関連するトピックも触れる予定です。</p>				

12:45	13:00	15分	休憩	
13:00	13:45	45分	クラウドネイティブ Java 技術 Jakarta EE & MicroProfile ディープダイブ	数村 憲治 富士通株式会社 ソフトウェア事業本部 シニアアーキテクト
<p>CN4J (Cloud Native for Java)は、2022 年にリリースされた Jakarta EE 10 と MicroProfile 6.0 により、新たなステージへ突入しました。本セッションでは、最新リリースの主要機能や、Java EE 8 からの移行時のポイント(特に名前空間の変更への対応)などを詳細解説します。</p> <p>また、次期 Jakarta EE 11 および MicroProfile 7 について、現在コミュニティで議論されている展望を紹介いたします。</p>				
13:45	14:00	15分	休憩	
14:00	14:45	45分	テック・リードと語る最新技術導入の秘訣から現場の生の声	湯川 勇太 NRI デジタル株式会社 クラウドアーキテクト 2 グループ エキスパート 石田 健亮 株式会社ドリーム・アーツ 取締役 CTO 寺田 佳央 Microsoft Corporation Developers Relation Sr. Cloud Advocate
<p>昨今、ChatGPT や GitHub Copilot など AI を活用した開発などが注目を浴びていますが、これだけではなく、技術トレンドは常に変化しています。</p> <p>最新の技術を学び各現場で採用するためには、様々な苦労や考えなければならない点があり、組織やプロジェクト毎に採用、非採用を検討する必要があります。こうした意思決定を、最前線で活躍されているテックリードがどのようにされているのかを伺い、皆様へ導入のヒントとなる内容をお届けします。</p> <p>また、エンジニアにとってキャリアを考える事もとても重要です。テックリードが今現場に求めるエンジニア像や今後求められるエンジニア像なども伺うことで、技術者として今後身につけておくべき内容なども伺います。</p> <p>本セッションでは、時間の許す限り、組織やエンジニアとして成長していくためのヒントを様々な観点で伺っていききたいと思います。</p> <p>ここだけでしか聞けない現場の生の声をどうぞ楽しみにしてください。</p>				
14:45	15:00	15分	休憩	
15:00	15:45	45分	アーキテクチャの進化から学ぶマイクロサービスの本質	鈴木 雄介 Graat (グロス・アーキテクチャ&チームズ株式会社) 代表取締役社長
<p>マイクロサービスは、突然生まれたアーキテクチャではなく、システム開発サイクルを高速化しようとする進化の過程で必然として生まれてきたものです。この進化の過程を学ぶことでマイクロサービスの考え方や、取り組み方を理解することができます。講演では、2000 年以降のアジャイル、クラウド、DevOps といったトピックスを紹介しながら、マイクロサービスの本質と、その後の進化について紹介します。</p>				
15:45	16:00	15分	休憩	

16:00 16:45 45分 マイクロサービス適用の現実的アプローチ

漆原 茂

マイクロサービスの利点は様々ありますが、正しく設計することが大前提です。
マイクロサービスが期待外れに終わらないようにするためにどのようなアプローチを進めれば
いいか、現実的な設計手法を紹介します。

ウルシステムズ株式会社 /
株式会社アークウェイ
代表取締役

16:45 17:00 15分 休憩

17:00 18:00 60分 Networking Party (Seminar Room B,C,Dにて開催いたします。)

※当日、内容やセッション時間について変更になる可能性がありますので予めご了承ください。また、イベント当日のハンズオンを含む各トラックへのセッション参加は先着順となります。ご参加希望のセッションが満席になる場合がございますので予めご了承ください。ご希望のセッションが満席の場合、異なるセッションへご参加をお願いします。